

# 環境防災林整備事業 白川地区

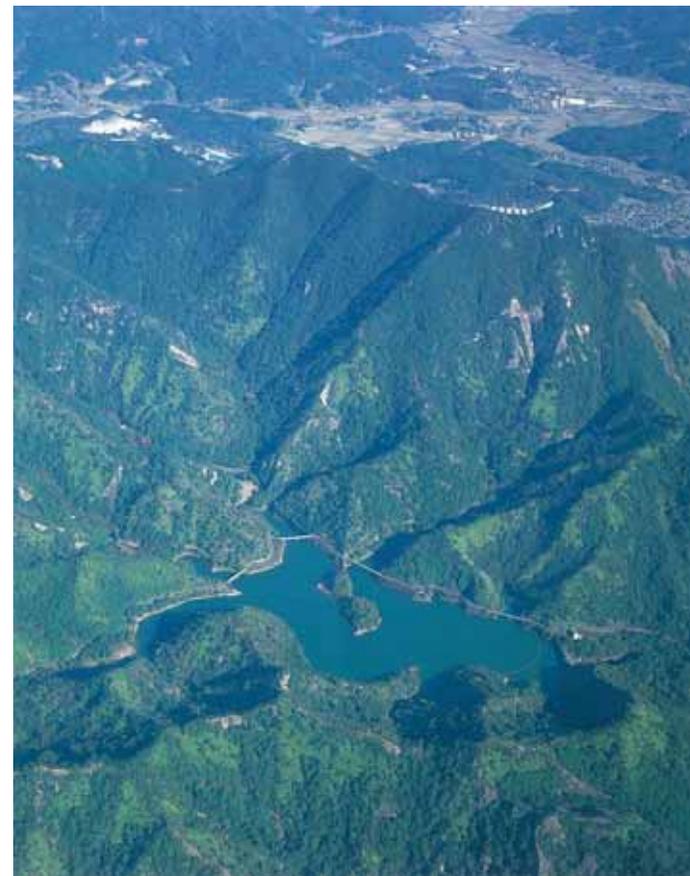
県土づくり本部 森林整備課





# 〔 (1) 事業概要 【事業内容】 〕

- 工期：平成12年度～平成15年度
- 事業費：52,644千円
- 治山ダム 2個
- 流路工 26.13m
- 森林整備 1.26ha



# (1) 事業概要

## 事業位置図



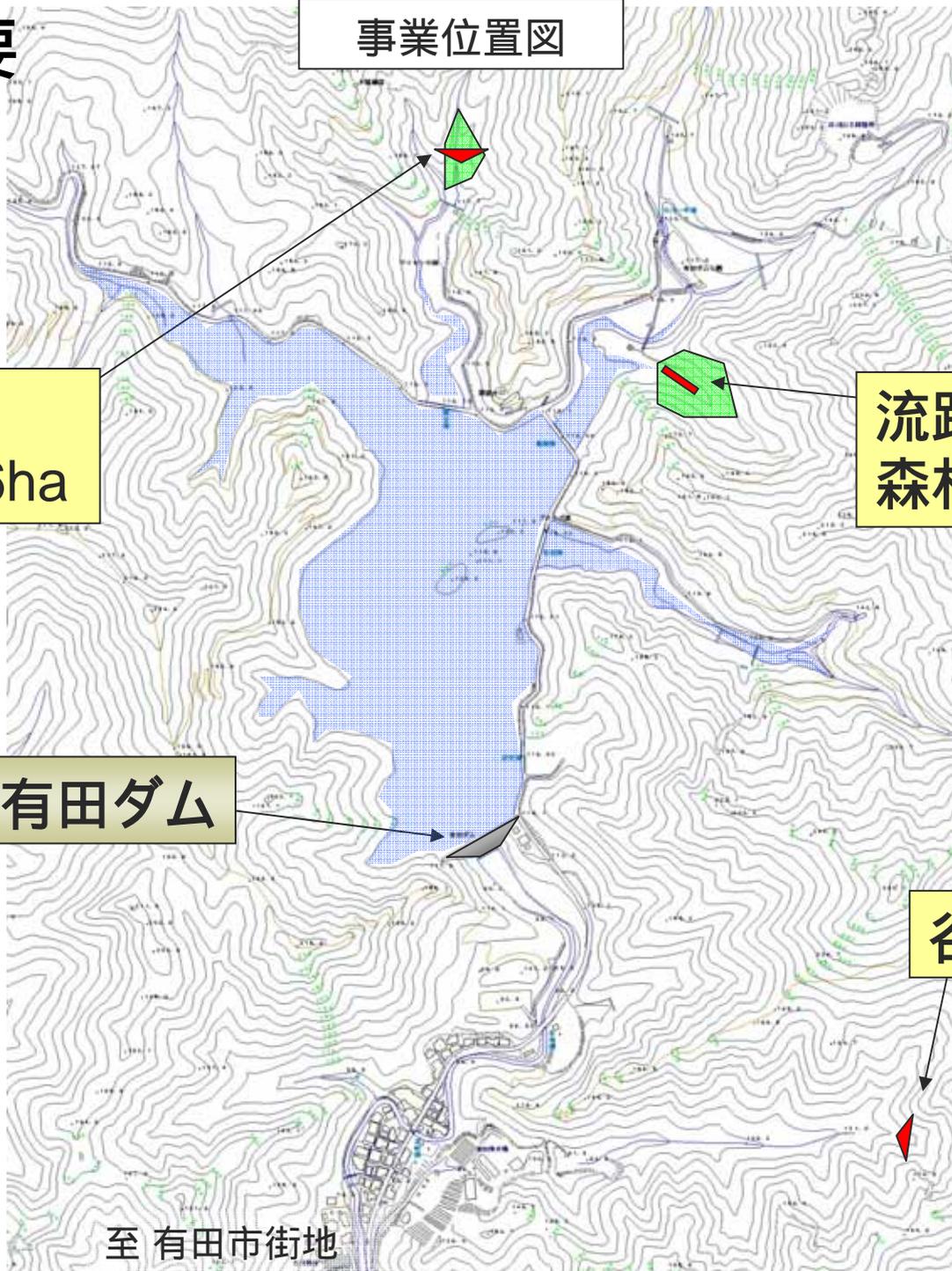
谷止工 1個  
森林整備 0.26ha

流路工 26.13m  
森林整備 1.00ha

有田ダム

谷止工 1個

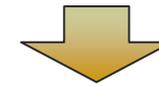
至 有田市街地



# 〔(1)事業概要【背景】〕

昭和56年から昭和58年にかけて、生活環境保全林として整備

溪流が荒廃、林分が過密化



森林の防災機能や環境保全機能の低下



春の有田ダム



荒廃した溪流

# **〔(1)事業概要【目的】〕**

**治山ダム・流路工と森林整備を併せて実施**



**森林の防災機能や環境保全機能を  
高度に発揮させる**



# 〔(2) 事業による環境の変化〕

## 生活環境

治山施設を施工  
下層植生の繁茂



土砂流出の抑制

## 自然環境

イロハモミジなどを  
植栽



彩りのある景観

## 社会文化環境

過密化した森林を  
整備



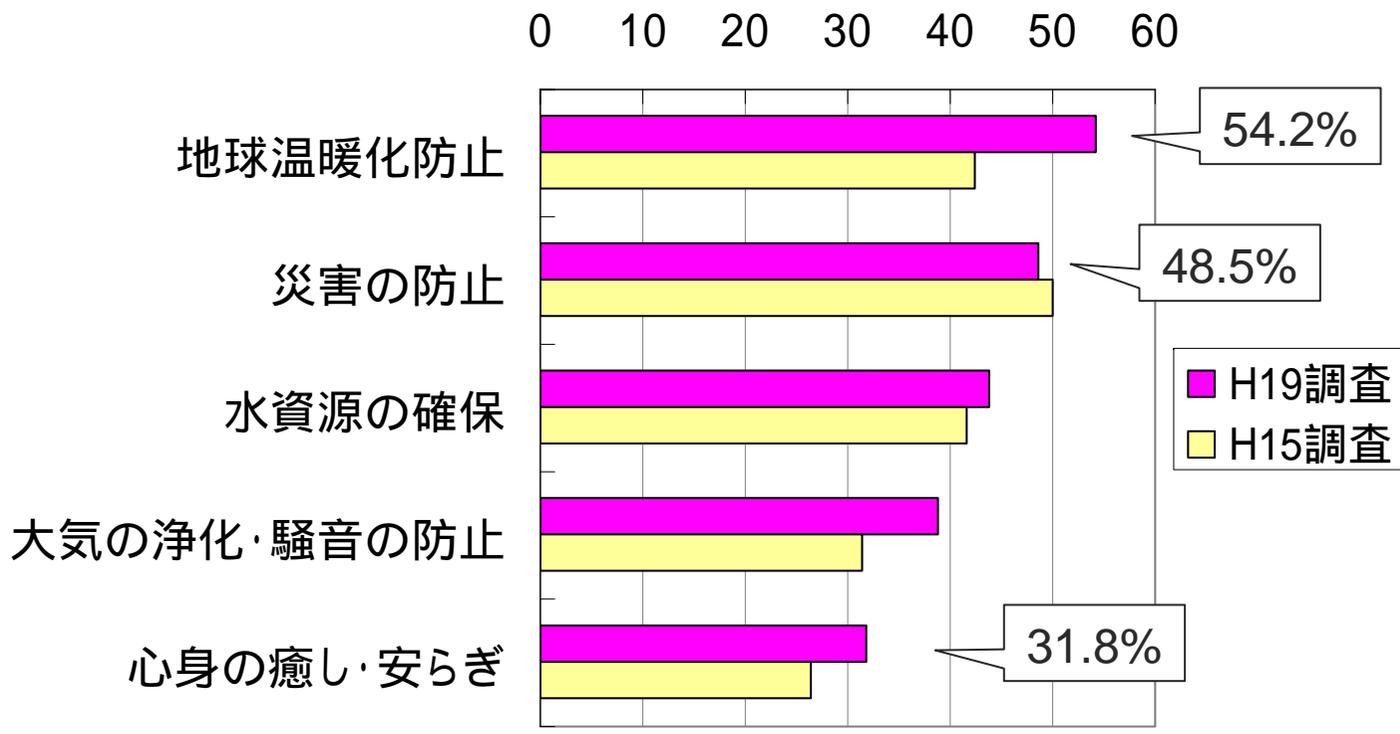
散策などの利  
活用の向上



# (3) 事業を巡る社会経済情勢の変化

## 森林に期待する働き

地球温暖化防止・災害の防止に対する期待が高い



注) 3つまでの複数回答のうち上位5項目

## (4) 施設の維持管理状況

- 治山施設は県で維持管理を行い、機能を十分に発揮している
- 森林は森林所有者である有田町が管理している



残置式木製型枠

## [ (5) 県民の意見 ]

- 景観に配慮し、残置式木製型枠を使用
- 流路工は現地発生材を活用し、景観の保全と防災機能の向上の両立を図った



現地発生材を利用した流路工

# [ (6) 事業の効果 ]

## 直接的効果

森林の機能が回復し、防災機能や水源かん養機能、保健  
休養機能の向上が図られた

- ・治山ダムによる土砂抑止・・・4,766 m<sup>3</sup>
- ・森林による土砂流出防止・・・385 t / 年



## 間接的効果

癒しの空間を提供するとともに、  
森林環境保全に対する意識の  
向上に貢献している



森林とダム湖の調和

## 〔(7) 地域住民との関わり〕

- 保全林内にはキャンプ場や林間広場、マイセンの森などがあり、多くの人々が訪れている
- 緑の少年団や小・中学校などの野外レクリエーションの場や学習・教育の場として利用されている



マイセンの森



野外レクリエーションの場

## (8) 今後の課題等

- 森林の健全な生長を促進させ、その機能を維持していくためには、今後とも適切な保育作業が必要となる
- 森林所有者である有田町が管理を行ってきたが、今後は、地域住民や地元企業との協働意識の向上を図り、連携・協力して管理を行っていく必要がある

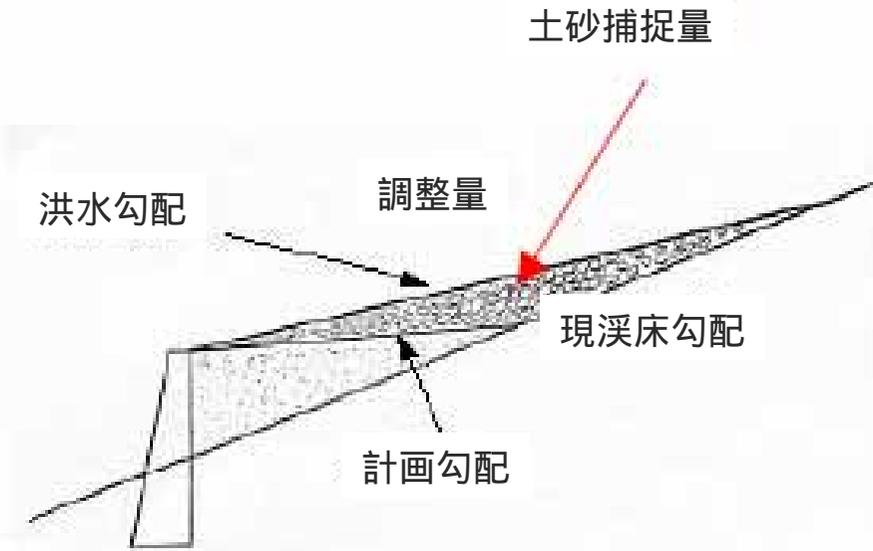
## (9) 新規箇所評価、再評価への 反映、改善点等

- 事業の実施環境(地元関係者の要望や市町の取り組み状況)のみならず、整備後の維持管理体制(地元関係者の参加状況等)について評価する必要がある



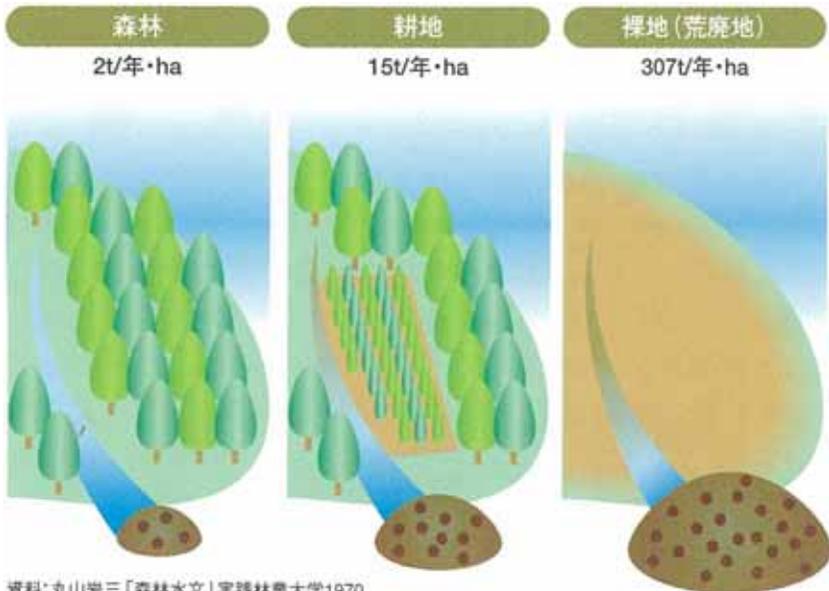
森林の管理

# 治山ダムによる土砂抑止効果



出典：治山技術基準解説（総則・山地治山編）

# 森林による土砂流出防止



資料：丸山岩三「森林水文」実践林業大学1970

